

吉賀町が実現した主な「子育て支援施策」

1) 目的

「子どもは、国の宝、町の宝」。このような視点から、子どもの健やかな成長が保障出来る体制の整備を実現。

2) 経過

- ◆平成26年4月 【町立及び認可保育所保育料】 第二子以降無償化
【放課後児童クラブ利用料】 第二子以降無償化
【小中学校給食費】 半額補助
【子ども等医療費】 高校生まで無償化
(従前は中学生まで)

- ◆平成27年4月 【町立及び認可保育所保育料】 完全無償化
【放課後児童クラブ利用料】 完全無償化
【小中学校給食費】 全額補助

- ◆平成29年7月 子育て世代包括支援センター設置 (保健福祉課内)
※令和2年度末までに設置 (努力義務)

- ◆令和元年10月 幼児教育・保育無償化に伴う副食費の無償化

- ◆令和4年4月 子ども家庭総合支援拠点設置 (保健福祉課内)

現在に至る

3) その他主な支援策

- ・バースデイブックプレゼント事業 (1、3、5歳児の誕生日に絵本贈呈)
- ・新入学お祝い事業 (小中学校へ入学時の制服費等の助成)
- ・小中学校等通学費助成 (バス通学生への助成)
- ・ぴよぴよ広場整備事業
- ・母子保健事業 (妊産婦通院助成・新生児聴覚検査助成等) 等

●幼児人口構成の推移（基準日：3月31日）

（単位：人）

年次	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
平成17年	47	48	37	51	52	51	286
平成18年	50	47	36	45	51	46	275
平成19年	33	49	50	38	44	49	263
平成20年	39	35	50	51	38	43	256
平成21年	45	42	36	50	52	39	264
平成22年	29	53	41	38	49	54	264
平成23年	31	31	55	41	37	47	242
平成24年	26	32	30	53	40	34	215
平成25年	34	30	33	29	52	44	222
平成26年	33	35	30	29	28	49	204
平成27年	34	41	36	33	30	25	199
平成28年	43	36	37	36	34	30	216
平成29年	27	45	37	35	40	35	219
平成30年	55	29	46	40	36	39	245
令和元年	32	54	30	44	41	36	237
令和2年	40	31	53	33	44	44	245
令和3年	35	44	28	50	31	43	231
令和4年	32	38	42	27	48	29	216
平均値	37	40	39	40	42	41	239

※年齢別人口集計表（税務住民課）による

町の人口減少が続く中、幼児人口についても平成17年の町村合併以後から約10年間は減少傾向でしたが、平成28年以降の3カ年では増加に転じています。

●18歳までの人口構成の推移

（単位：人）

年次	未就学児	小学生	中学生	高校生ほか	合計
	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16歳～18歳	
平成17年	347	406	228	229	1210
平成18年	336	389	219	215	1159
平成19年	314	374	217	215	1120
平成20年	306	351	208	209	1074
平成21年	307	347	191	199	1044
平成22年	304	326	185	198	1013
平成23年	297	302	178	191	968
平成24年	264	293	181	170	908
平成25年	257	279	174	161	871
平成26年	250	262	166	152	830
平成27年	249	263	156	160	828
平成28年	239	265	135	153	792
平成29年	251	258	126	148	783
平成30年	278	231	138	141	788
令和元年	275	220	135	145	775
令和2年	280	225	133	135	773
令和3年	274	218	120	136	748
令和4年	258	206	131	144	739

※年齢別人口集計表（税務住民課）による

※平成17年は10月1日を基準、その他は3月31日を基準としている

各年齢区分において減少傾向にあるが、16～18歳については県が主導している「しまね留学」により県外等からの一定数の入学者を確保することが出来ていることが、人口維持につながっていると想定される。町でも直営で寮の整備や公設塾の運営など、吉賀高校支援室を設置し支援に取り組んでいる。

2. 出生数、妊産婦の状況等について

平成29年度において合併後最多の出生数を記録した。以降においても、総人口は年々減少しているものの、出生数は安定した値で推移している。また、ここ数年第3子以降の出生が全体の4割近くを占めていることから、手厚い子育て支援施策等により安心して子育てが出来るという期待感も増加要因の一つではないかと分析している。

●出生数の推移（基準日：3月31日）（単位：人）

年 度	総人口	15歳未満	出生数
平成21年度	7,063	776	32
平成22年度	6,997	750	30
平成23年度	6,888	721	28
平成24年度	6,768	679	34
平成25年度	6,757	658	35
平成26年度	6,604	617	36
平成27年度	6,509	609	42
平成28年度	6,419	596	27
平成29年度	6,306	591	51
平成30年度	6,286	604	32
令和元年度	6,218	593	39
令和2年度	6,194	583	35
令和3年度	6,018	569	34
令和4年度（見込）	5,863	559	33

※年齢別人口集計表、事務報告書（税務住民課）による

●多子等出生状況（単位：人）

年 次	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	合 計
平成27年度	17	13	10	2	0	42
平成28年度	16	6	3	1	1	27
平成29年度	21	18	8	2	2	51
平成30年度	11	14	4	3	0	32
令和元年度	14	20	3	1	1	39
令和2年度	10	12	11	2	0	35
令和3年度	9	12	10	3	0	34
令和4年度（見込）	9	10	10	4	0	33

●多子等出生状況 比率（単位：%）

年 次	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	合 計
平成27年度	40.5	31.0	23.8	4.8	0.0	100.0
平成28年度	59.3	22.2	11.1	3.7	3.7	100.0
平成29年度	41.2	35.3	15.7	3.9	3.9	100.0
平成30年度	34.4	43.8	12.5	9.4	0.0	100.0
令和元年度	35.9	51.3	7.7	2.6	2.6	100.0
令和2年度	28.6	34.3	31.4	5.7	0.0	100.0
令和3年度	26.5	35.3	29.4	8.8	0.0	100.0
令和4年度（見込）	27.3	30.3	30.3	12.1	0.0	100.0

※担当課（保健福祉課）の資料による

邑南町はどんなまち？

人口減少

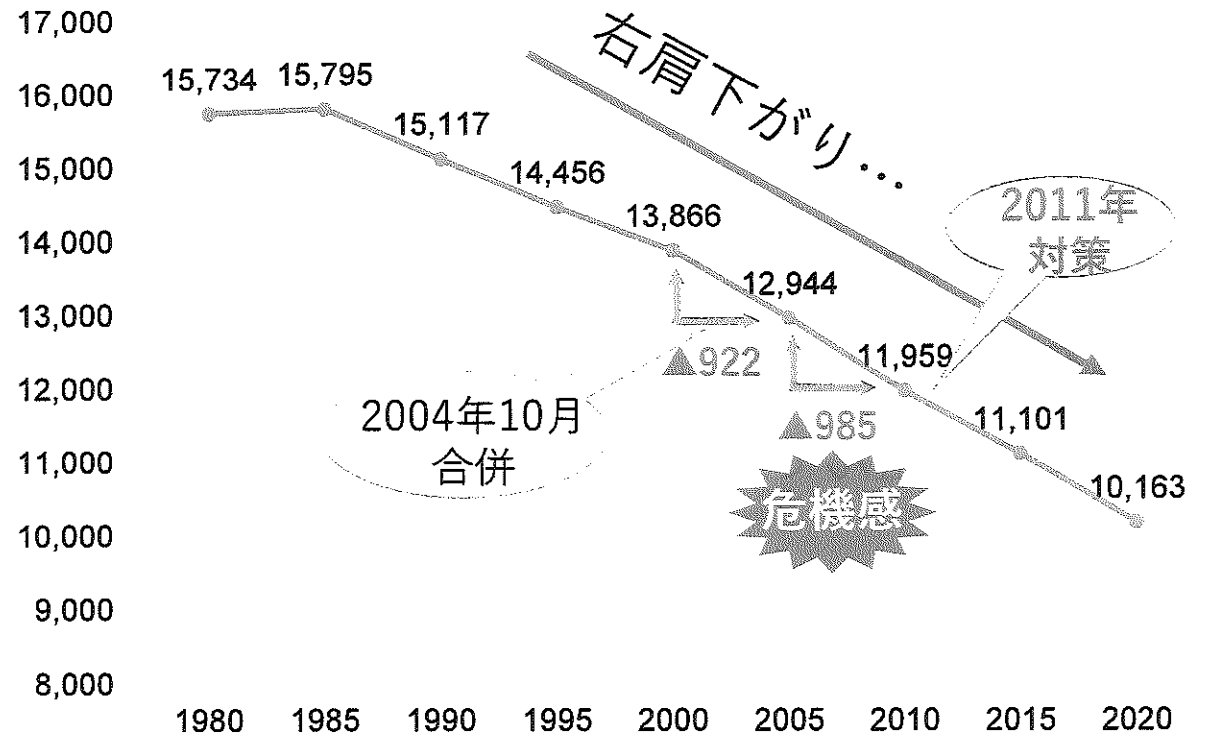
■ 合併後の国勢調査

- ・ 2005年 922人減少
- ・ 2010年 985人減少



町の維持への危機感

国勢調査 人口の推移



日本一の子育て村構想の全体像

日本一の子育て村を目指して ~子育てするなら邑南町で~



お問い合わせは、
邑南町役場地域みらい課
Tel.0855-95-1117 まで
IP:050-5207-3019

10年後

若者定住

平成33年目標値
0歳~18歳人口
1,800人

5年後(平成28年)目標値
0歳~18歳人口 1,700人

H22.10.1現在
0歳から18歳人口
1,660人

邑南町版ネウボラ
◆子どもまるごと相談室
・ワンストップ相談体制
・産後ケア 産婦健診

福祉
◆第2子目から保育料無料
◆保育所完全給食
◆放課後児童クラブ
◆病児保育・延長保育
一時預かり保育・障がい児保育

保健
◆子ども医療費の無料
(中学校卒業まで)
◆予防接種費用全額助成
◆不妊治療費助成

医療
◆身近で安心な医療体制
(公立邑智病院)
・産婦人科、小児科機能充実
・24時間救急受付(365日)
・ドクターヘリ緊急搬送
・民間病院や町立診療所等との連携

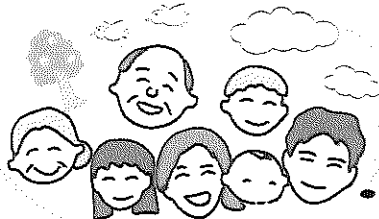
就労
◆新規就農支援
◆無料職業紹介所
◆起業家支援事業

結婚
◆出会いのサポーター

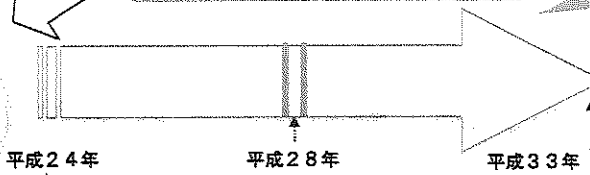
教育
◆奨学金制度(医療・農林業・一般)
◆笑顔キラキラ事業(学習支援員等の配置)
◆ふるさとまるごと博物館
◆図書館司書の配置
◆特別支援教育の推進
(県立石見養護学校・町立くるみ学園)
矢上高校支援
◆通学バス助成
◆町立研修施設の整備

生活環
(1)情報 ◆ケーブルTVの活用
(2)住まい ◆住宅・空き家改修補助
(3)上下水道 ◆上下水道整備
(4)公共交通 ◆通学費助成
(5)道路 ◆生活道路整備

主な生活情報
○高速インターネット環境
○町内通話料無料
○高速道路IC
◀広島→1時間▶



地域で子育て

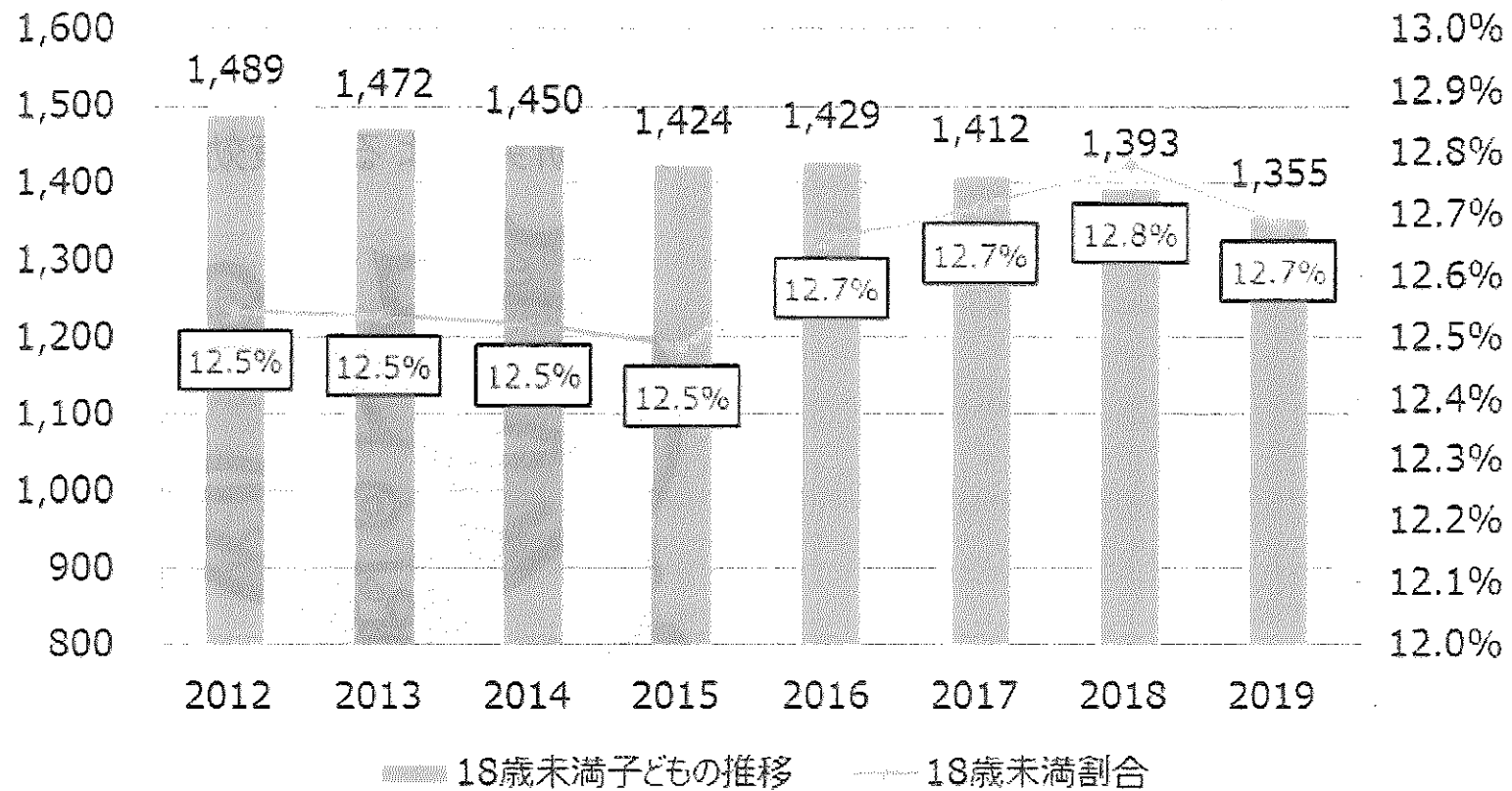


構想開始後の人口動向その1

18歳未満の人口推移

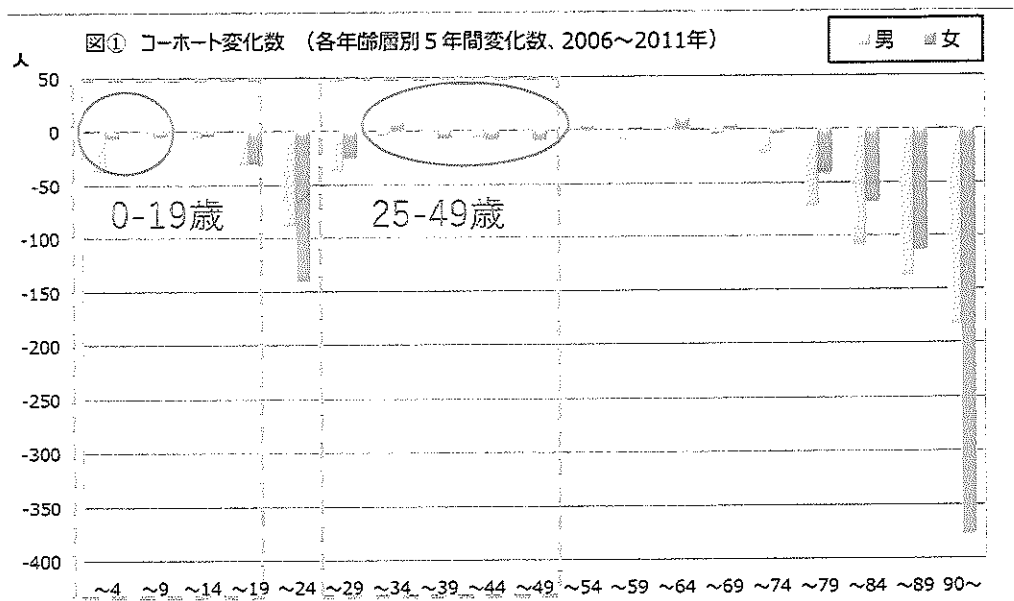
- ・ 18歳未満の人口は、2019年の1355人へと減少。
- ・ 同期間の全人口に占める18歳未満人口の割合はほぼ横ばい。

邑南町18歳未満の推移(2012～2019年)



データ：2012～2019年邑南町住民基本台帳

構想開始後の人口動向その2 ～将来人口推計値～



《左上のグラフ》構想スタート前

2006年から2011年の5年間で人口がどう
変化したか。

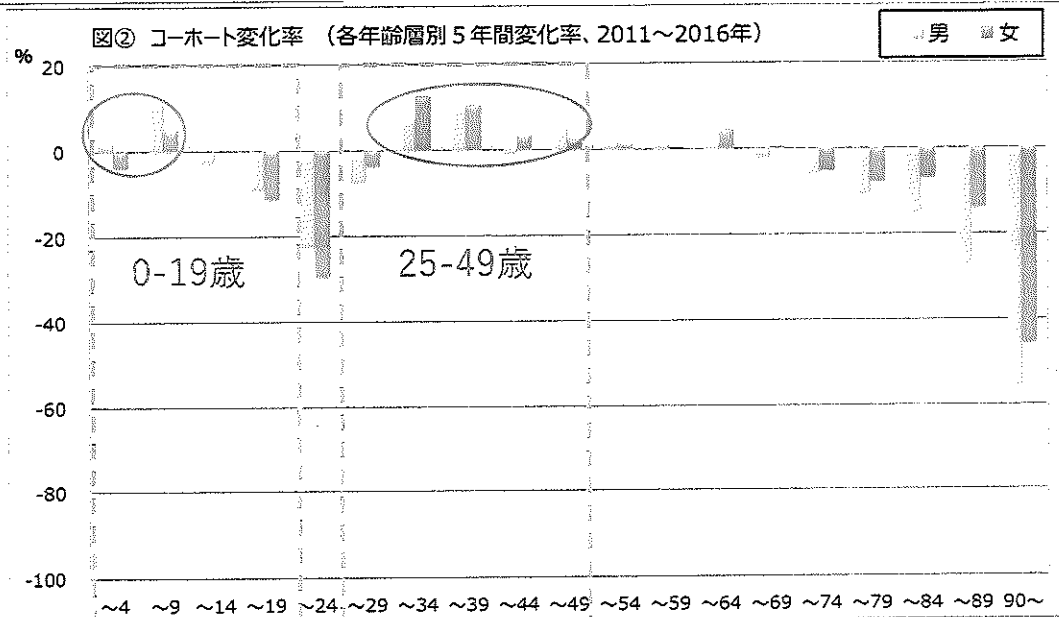
《右下のグラフ》構想スタート後

2011年から2016年の5年間で人口がどう
変化したか。

★30～44歳で増加

★0～9歳も増加

子育て世代が増加

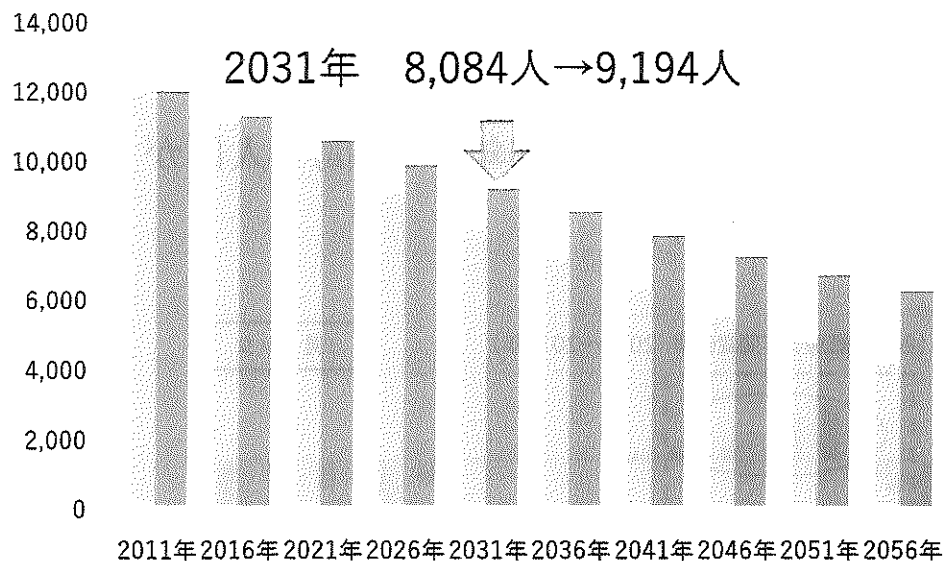


構想開始後の人口動向その2 ～将来人口推計値～

構想スタート前（2006～2011）と構想スタート後（2011～2016）のデータから、将来の人口を予測

今後の人口予測

2006-2011 ■ 2011-2016

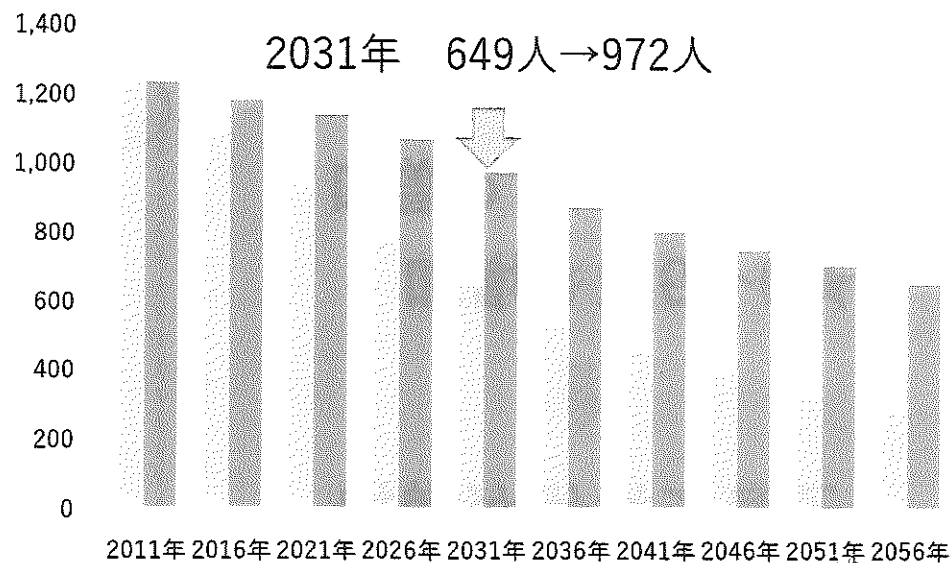


←構想スタート後は将来的な人口の減少が緩やかに。

↓15歳未満人口も減少が緩やかに。

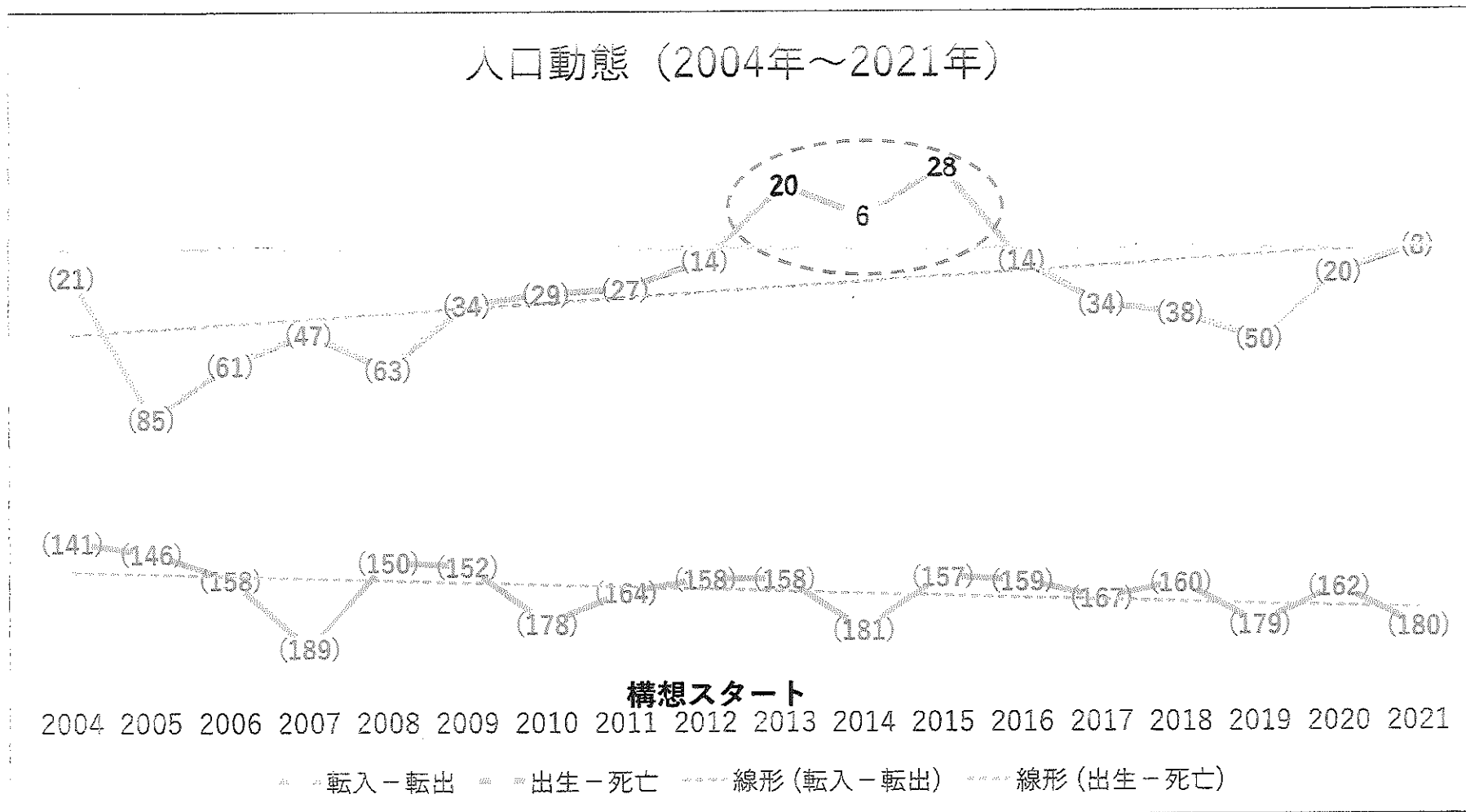
15歳未満人口の将来予測

2006-2011 ■ 2011-2016



人口動態への影響

- ・ 2013年には合併後初の社会増。
- ・ 2013～2015年までは3年連続で社会増。



出典：邑南町住基データ (2012年からは外国人を含んだ数値)